

2025 年度 事業報告書

2025 年 4 月 1 日から

2026 年 3 月 31 日まで

福島県西白河郡矢吹町本町 216 番地

公益財団法人 会 田 病 院

2025 年度 事業報告書

はじめに

2025 年度の事業報告を申し上げるにあたり、まずは地域住民の皆様、ならびに関係諸機関の多大なるご支援に深く感謝申し上げます。

本年度は、日本の社会構造が大きく変容する「2025 年問題」がいよいよ現実のものとなり、医療機関にとってもその役割の再定義が強く求められる一年となりました。

当財団においては、「地域に信頼される病院」を行動指針に掲げており、地域医療の持続可能性を確保するため、経営効率の最適化と質の高い医療サービスの提供を両立させるべく、社会情勢が激しく変化する中、全職員一丸となって取り組んでまいりました。

また、本年度は当財団にとって設立 80 周年という大きな節目を迎えました。80 年、この地で医療を継続できた重みを職員一同が再認識し、記念ロゴ作成や集合写真撮影、職員からキャッチフレーズの募集などの活動を行い、改めて地域との絆を深める契機といたしました。

運営面においては、2024 年度の診療報酬改定への適応に加え、物価・エネルギーコストの高騰という厳しい環境下ではありましたが、徹底したコスト管理とエネルギー調達の最適化により、健全な経営基盤の維持に努めてまいりました。

また、「かかりつけ医機能報告制度」への対応など、地域医療連携の更なる深化にも着手しております。

本報告書は、こうした激動の一年における各部門の歩みをまとめたものです。

私たちは 80 年の歴史を糧に、今後も「安心・安全・質の高い医療」という原点を忘れることなく、地域医療の安定に全力を尽くしてまいりる所存です。

1. 定款に定める事業内容

- ① 救急医療及び地域に不可欠な医療を提供する事業
- ② がん治療等、高度先進医療を提供する事業
- ③ 胸部疾患に関する事業
- ④ 予防医療活動並びに健康増進を啓蒙する事業
- ⑤ 訪問診療・訪問看護を提供する事業
- ⑥ 通所リハビリテーション事業
- ⑦ 老人及び障害者等へ介護・療養の環境を提供する事業
- ⑧ 保健・医療・福祉に関わる専門職の資質向上を支援する事業
- ⑨ 医師及び看護師その他医療従事者の育成事業
- ⑩ その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2. 職員に関する事項

○2026 年 3 月 31 日現在の職員数は次の通りである。

- ・総職員数 347 名
- うち、
 - ・常勤職員 285 名（平均年齢 42.2 歳・平均勤続年数 10.1 年）
 - 男性 82 名（平均年齢 41.7 歳）
 - 女性 203 名（平均年齢 42.4 歳）
 - 内訳 理事 1 名・医師 12 名・看護師 76 名・准看護師 18 名
介護支援専門員 4 名・介護福祉士 36 名・ヘルパー 8 名
看護助手 6 名・薬剤師 6 名・臨床検査技師 7 名
診療放射線技師 5 名・理学療法士 23 名・作業療法士 14 名
言語聴覚士 6 名・臨床工学技士 5 名・管理栄養士 6 名
医療ソーシャルワーカー 4 名・医療事務 16 名
医師事務作業補助者 3 名・一般事務 23 名
ボイラー技士 1 名・運転手 2 名・その他補助者 3 名
 - ・非常勤職員 62 名
 - 男性 43 名
 - 女性 19 名
 - 内訳 理事 1 名・医師 44 名・看護師 8 名・准看護師 1 名
介護福祉士 1 名・ヘルパー 1 名・管理栄養士 1 名
ボイラー技士 2 名・運転手 2 名

3. 部門別事業報告

① 法人部門

法人は2013年4月に財団法人から公益財団法人へと移行し13年目を迎え、定款に定める事業内容を念頭に『良質な医療を安全に提供できる病院づくりにつとめ、地域社会に貢献します』を基本理念に目標達成に向けた取り組みを実施した。

組織の確立については、将来の医療介護の変化に対応できるよう経営会議を2か月に1回開催を毎月開催とし、また中期計画の見直しに向けた将来構想検討会議を実施した。今後も組織基盤の確立へ向けて強化していく。

職員就労環境の整備に関しては、2024年度に引続き給与の改善として、初任給の引き上げ、手当や60歳超職員の減給の見直しを実施し処遇改善を行った。

人材確保については、募集全職種苦戦しているものの応募しやすいネット募集環境の強化に取り組み応募数は増加した。しかし、採用までに至らないケースもあり今後もさらに進める必要がある。

2026年1月に設立80周年を迎えるにあたり、7月に80周年記念事業実行委員会を立上げ、職員や関係者と共に感謝と結束を深める企画計画を検討・策定し、1年を通して実施していく。

地域の医療連携強化として、8月には福島県南医療圏における地域完結型医療の推進のため、4病院(白河厚生総合病院・白河病院・塙厚生病院・会田病院)に於いて医療機関が相互に連携し地域住民に対して継続的かつ適切な医療を提供することを目的に連携協定を締結した。

② 病院部門

本年度の診療体制については、病床機能を最大限に活用すべく、新たに病床を管理するためのチームを発足し、病床稼働率の向上に向けての会議および病床機能の再編成などを検討した。

また、大学病院等との医師派遣・紹介体制を緊密に維持したことで、安定した診療実績を確保した。

管理面では、エネルギーコスト増に対し、電力料金の適正化を図るべく価格交渉を戦略的に実施し、大幅な経費削減を実現した。

今後は、障害者病棟の対象患者の確保および療養病床を含む病床稼働率の最適化をさらに進めるとともに、医療従事者の働き方改革にも柔軟に対応し、地域に不可欠な利用資源として持続可能な運営を目指していく。

【外来部門】

外来患者数は1日平均目標値273名に対し、276.1名の実績であり、目標を達成することが出来た。

新患者数は減少するも再診患者数の増加がみられ、前年度より増患となった。

【入院部門】

入院患者数は1日平均目標値155.5名に対し、150.8名の実績であり、目標を達成することが出来ず、前年度実績153.5名よりも減少してしまった。

収益面においては、地域連携の強化により、より医療ニーズの高い患者様を積極的に受け入れ、適切な診療報酬加算の取得に努め、前年度よりも増収となった。

病院（外来/入院）

	2025 年度	2024 年度	前年比
外来患者延人数	80,901 名	80,155 名	100.1 %
1 日平均	276.1 名	273.6 名	100.1 %
新患者数	14,253 名	14,418 名	98.9 %
入院患者延人数	55,059 名	56,028 名	98.3 %
1 日平均	150.8 名	153.5 名	98.2 %
新入院患者数	1,568 名	1,585 名	98.9 %
退院患者数	1,564 名	1,593 名	98.2 %

【救急搬送数】

救急搬送要請件数は1,175件と前年度比86件減少、応需件数924件と前年比17件減少してしまったが、要請総数における応需率は78.6%と前年度より4.0%上昇し、応需率の目標値である72%を上回る結果となった。

救急搬送診療応需件数

圏 域	要請件数	うち応需件数	応需率
白河広域圏 (内 矢吹町)	997 件 (352 件)	810 件 (312 件)	81.2% (88.6%)
須賀川地方広域圏他	178 件	114 件	64.0%
合 計	1,175 件	924 件	78.6%

【血液透析センター】

- ・透析患者の延人数目標 10,440 名に対し、実績 10,237 名（前年比 89 名減）
- ・1 日平均透析患者数は 65.4 名（前年比 0.6 名減）
 - 内訳：外来 56.8 名（前年比 2.2 名減）、入院 8.6 名（前年比 1.6 名増）
- ・院内新規透析患者 3 名（前年比 3 名増）
- ・他院からの紹介患者 16 名（前年比 7 名増）
- ・年間 P T A（経皮的血管形成術）回数 15 回

【健診センター】

- ・人間ドック延人数目標 1,830 名に対し、実績 1,695 名（前年比 38 名減）
- ・一般健診は延人数目標 6,470 名に対し、実績 6,497 名（前年比 284 名増）
- ・全体人数は延人数目標 8,300 名に対し、実績 8,477 名（前年比 284 名増）

人間ドックにおいては一部の保険者で大きく予約減があり目標に達しなかったが、一般健診（特に協会けんぽ）においては積極的に予約を取得し、健診受診者を増やすことができた。結果、受診者数は増加したが単価の関係から収益は増やすことが出来ず目標を達成することができなかった。

昨年比としては、収益は 2,242,357 円増加するも、目標比としては 2,400,545 円減少となってしまった。

人間ドック及び各種健診・保健指導実績

健 診 内 容	2025 年度	2024 年度	前年比
日本病院会指定による二日人間ドック	1 名	5 名	20.0%
日本病院会指定による一日人間ドック	1,694 名	1,728 名	98.0%
一般事業所健診	6,497 名	6,213 名	104.6%
白河市、西白河郡住民健診	285 名	247 名	115.4%
計	8,477 名	8,193 名	103.5%
特定保健指導（10 事業所）	89 名	118 名	75.4%
産業医訪問事業所数	10 社	12 社	83.3%

① 会田病院指定居宅療養管理指導事業所

訪問診療数は前年度に比べ 32 件の減少がみられた。居宅療養管理指導数・医学管理指導数共に目標値を下回る結果となり、新たな利用者の増加が課題となった。

実績	2025 年度	2024 年度	前年比
訪問診療数	702 件	734 件	95.6%
居宅療養管理指導数	558 件	554 件	100.7%
医学管理指導数	591 件	579 件	102%
新規導入者数	32 件	33 件	96%

② すみれ訪問看護ステーション

訪問看護師 3.3 名 リハビリ 2.5 名体制にて訪問実施

目標 1 日平均訪問人数、看護師が 11 名・リハビリが 11 名に対し実績は看護師 9.6 名(前年度比 2.2 名減)、リハビリ 8.5 名(前年度比 1.1 名減)となっている。利用実人数は月平均 93 名(前年度比 9 名減)、新規利用者 2.8 名(前年度比 3.7 名減)、また入院・中止・終了者は 7.9 名(前年度比 1.7 名減)となっている。

中止・終了者に対し新規利用者が追いついていないため、目標数値に至らなかった。利用者の 3 分の 1 は 90 歳以上であり、併せて介護者の高齢化や利用者の独居が見られている。自宅介護困難や独居での生活困難が、施設入所や疾患の悪化による入院で ADL が低下し、自宅退院が困難になってしまうことも要因と考える。2026 年度は病院、他事業所と連携し在宅介護、自宅療養が安心して受けられるサービス調整を行い、新規利用者を獲得していく必要がある。

実績	2025 年度	2024 年度	前年比
延利用者数	5246 名	6288 名	83%
1 日平均利用者数	18.1 名	21.4 名	85%

③ すみれ介護相談センター

ケアマネージャー4名体制で事業を実施。

目標月平均利用者数 134 名に対し、実績が 136.5 名（前年比同数）新規利用者は 55 名（前年比 16 名増）、終了利用者数は 48 名（前年比 14 名増）であった。新規利用者は家族からの依頼が 1 番多く 23 名。目標人数を達成し、新規利用者も毎月獲得する事ができた。

今後も病院や地域と連携し、利用者増に努めていく。

実績	2025 年度	2024 年度	前年比
延利用者数	1,638 名	1,638 名	100%
1 日平均利用者数	136.5 名	136.5 名	100%

④ 会田通所リハビリテーション

介護職 10 名、リハビリ職 7.5 名にて事業を実施。

一日の目標利用者数を 36.7 名（一日コース 30.0 名、短時間 6.7 名）とし事業を実施。実績は 35.5 名、内訳は一日コース 28.5 名、短時間コース 7.0（前年：35.1 名、一日コース 28.1 名、短時間コース 7.0）。月平均の新規利用者は 4.7 名（0.4 名増）、終了者 5.1 名（0.9 名増）。一日コースの利用者で体調不良や入院が多く、目標達成に至らなかった。新規利用者、終了者ともに増加しており、利用者の入れ替わりが早くなっている。新規利用者を増やすとともに、体調不良時のアセスメントに力をいれ、継続して利用していただけるような体制を整えていく必要がある。そのためにも他事業所との連携方法については現状の方法だけでなく、様々な方法を模索していく必要がある。

実績	2025 年度	2024 年度	前年比
延利用者数	10,420 名	10,344 名	100.7%
1 日平均利用者数	35.5 名	35.1 名	101.1%

4. 重要な契約に関する事項

- ・リハビリ棟屋上防水改修工事 19,000,000 円

5. 役員会等に関する事項

2025 年度の定例理事会・評議員会等は、次の通り開催した。

(1) 理 事 会

○ 定 期

- ① 開 催 日 2025 年 5 月 30 日 (金)
- ② 開催場所 会田病院 3 階講義室
- ③ 議決事項
 - 第 1 号議案 2024 年度事業報告承認の件
 - 第 2 号議案 2024 年度決算報告及び監査報告承認の件
 - 第 3 号議案 任期満了に伴う理事・監事選任案承認の件
 - 第 4 号議案 評議員辞任の件
 - 第 5 号議案 任期満了に伴う評議員選任案承認の件
 - 第 6 号議案 定款変更の件
 - 第 7 号議案 評議員会招集の件

○ 定 期

- ① 開 催 日 2026 年 3 月 26 日 (木)
- ② 開催場所 会田病院 3 階講義室
- ③ 議決事項
 - 第 1 号議案 2026 年度事業計画 (案) 承認の件
 - 第 2 号議案 2026 年度収支予算 (案) 承認の件
 - 第 3 号議案 2026 年度借入金限度額 (案) 承認の件
 - 第 4 号議案 2025 年度特定資産取得計画 (案) 承認の件

(2) 評 議 員 会

○ 定 期

- ① 開 催 日 2025 年 6 月 19 日 (木)
- ② 開催場所 矢吹ゴルフ倶楽部
- ③ 議決事項
 - 第 1 号議案 2024 年度事業報告承認の件
 - 第 2 号議案 2024 年度決算報告及び監査報告承認の件
 - 第 3 号議案 任期満了に伴う理事・監事選任案承認の件
 - 第 4 号議案 評議員辞任の件
 - 第 5 号議案 任期満了に伴う評議員選任案承認の件
 - 第 6 号議案 定款変更の件

(3) 業務監査・会計監査に関する会議

○ 2024 年度 監事監査

- ① 開催日 2025 年 5 月 15 日 (木)
- ② 開催場所 会田病院 3 階講義室
- ③ 内 容 業務監査、会計監査など

(4) その他

常勤理事による常任理事会を偶数月の第 4 水曜日に開催した。

6. その他公益事業報告

(ア) 育英事業

奨学金交付状況

○ 2025 年度の奨学生は、次の通りである。

- ・ 那須看護専門学校 1 名
- ・ 国際医療福祉大学 1 名
- ・ 奥羽大学 1 名

(イ) 公衆衛生協力事業

○ 社会福祉法人へ診療協力を実施した。

- ・ 社会福祉法人 恵愛福祉会 特別養護老人ホーム 寿光園
- ・ 社会福祉法人 創世福祉事業団 特別養護老人ホーム 大信 聖・虹の郷
- ・ 社会福祉法人 創世福祉事業団 特別養護老人ホーム 表郷 聖・オリーブの郷
- ・ 社会福祉法人 福島県社会福祉事業団 障害者支援施設 福島県矢吹しらうめ荘

○ 矢吹町内小中高等学校 6 校、幼稚園・保育園 5 施設の内科健診、眼科健診、耳鼻科健診を実施した。

○ 献血事業協力のため 福島県赤十字血液センター及び矢吹町と協議し、年に 2 回献血協力を実施した。

- 実施日 2025 年 10 月 22 日 (水) 8 名参加
- 2026 年 3 月 4 日 (水) 12 名参加

(ウ) 研究研修事業

医療従事者等の実習生を受け入れた。また、関連大学に研究費の助成を実施した。

- ・ 西白河地方地域医療連携学寄附講座 1 件 23,865,000 円
- ・ 関連各種学会へ事業援助 1 件 200,000 円
- ・ 関連大学へ研究助成 6 件 112,000,000 円

○ 教育研修事業（階層別研修を含む）

（人事関係）

開催日	研修名	参加人数
2025 年 4 月 1 日～2 日	医師オリエンテーション	5 名
2025 年 4 月 2 日	新入職員研修	18 名
2025 年 4 月 3 日	新入職員オリエンテーション	21 名
2025 年 5 月 1 日	医師オリエンテーション	1 名
2025 年 7 月 1 日	中途採用者オリエンテーション	5 名
2025 年 10 月 2 日	中途採用者オリエンテーション	2 名
2025 年 12 月 1 日	中途採用者オリエンテーション	1 名
2025 年 12 月 4 日	魅力ある職場づくり促進事業 出前講座	39 名
2026 年 1 月 26 日	中途採用者オリエンテーション	2 名

○ 医療安全

医療安全院内企画研修

開催日	研修内容	参加人数
2025 年 8 月 1 日 ～8 月 28 日	「2024 年度 ヒヤリハット・インシデント報告書からの振り返り」 「確実な確認行動で守る患者の安全」	311 名
2026 年 3 月 19 日 ～4 月 8 日	「個人情報保護法」 ※個人情報保護委員会との共同企画	291 名

医療安全研修（院外）

開催日		研修名	参加人数
2025 年	8 月 28 日	医療安全管理者交流会 「医療安全業務の理想と現実」	1 名
	10 月 18 日	病院看護師交流会 「身体拘束最小化に向けた実践の知の共有」	4 名
	10 月 29 日	「新人のための医療安全」	2 名
	11 月 21 日	医療安全推進事業研修	1 名
2026 年	1 月 21 日	リスクマネジメントに対応する看護記録	4 名
	3 月 9 日	県南地域医療安全研修 「ヒヤリハット事例からの事故防止対策」	1 名
	3 月 9 日	県南地域医療安全ネットワーク会議 「身体拘束最小化の取り組みについて」	1 名

○ 感染対策

週 1 回感染対策チーム（ICT）ラウンド、月 1 回感染リンクスタッフ環境ラウンドを実施し、感染に対する指導、教育を行った。また、白河厚生総合病院での合同カンファレンスに医師、臨床検査技師、薬剤師、看護師の 4 名が年 4 回参加し、感染情報の共有に努めた。12 月から 1 月にかけてインフルエンザ、COVID-19 が流行し、院内でも感染者が多数発生したが、死亡事例や重症化することなく終息できた。

感染対策研修

開催日	研修内容	参加人数
2025 年 5 月 20 日	自主研修・環境清掃	15 名
2025 年 9 月 1 日～ 9 月 12 日	全職員対象集合研修 あなたの手指衛生が患者の命を救う	294 名
2025 年 11 月 5 日～ 11 月 7 日	自主研修・ハンドケア	36 名
2025 年 12 月 22 日～ 1 月 31 日	全職員対象集合研修 空気予防策（N95 マスク）	280 名
2026 年 1 月 5 日～ 1 月 26 日	看護部、診療部対象研修 N95 マスクフィットテスト	119 名

○ 消防署救急医療実習受入状況

実 習 内 容	人 数
白河地方広域市町村圏消防本部 救急救命士資格取得後就業前の病院研修	6 名

○ 小学生・中学生・高校生の実習・職場体験受入状況

学 校 名	人数	学 校 名	人数
矢吹町立矢吹中学校	6 名	福島県立須賀川創英館高等学校	10 名
中島村立中島中学校	4 名	福島県立須賀川桐陽高等学校	4 名
福島県立光南高等学校	13 名	福島県立郡山高等学校	1 名
福島県立岩瀬農業高等学校	3 名	福島県立郡山萌世高等学校	1 名
福島県立白河旭高等学校	5 名	帝京安積高等学校	2 名
福島県立安積黎明高等学校	3 名	尚志高等学校	1 名

○ 学生等の実習受入状況

職 種	学 校 名 等	人 数
看護師	白河厚生総合病院附属高等看護学院	6 名
薬剤師	奥羽大学	1 名
理学療法士 作業療法士 言語聴覚士	国際医療福祉大学	3 名
	山形医療技術専門学校	2 名
	国際医療看護福祉大学校	3 名
	福島県立医科大学	4 名
	郡山健康科学専門学校	1 名
	新潟医療福祉大学	1 名
	医療創生大学	2 名
	仙台青葉学院短期大学	1 名
	東北福祉大学	1 名
管理栄養士	郡山女子大学	3 名
介護支援専門員	福島県社会福祉協議会	1 名
認定看護管理者教育課程 「セカンドレベル」	福島県看護協会	1 名

○ 高校生対象社会人講話（キャリア講座）講師参加状況

学 校 名	講 義 内 容	参 加 人 数
福島県立光南高等学校	医療従事者の仕事	69 名

7. 設備改修工事等報告

- 2025 年度に実施した工事は、以下の通りである。
 - ・リハビリ棟屋上防水改修工事
 - ・病棟エアコン室外機部品交換工事
 - ・ストレージタンク内加熱管修繕
 - ・エレベーター修繕工事

8. 労使関係報告

- 2025 年 4 月 1 日付けで施行の以下の規則に関する改定を行った。
 - ・就業規則
 - ・育児・介護休業等に関する規則

9. 庶務事項報告

- 2025 年度の外部団体並びに当法人からの職員に対する表彰は、次の通りである。
 - ・2025 年度 矢吹町商工会
優良従業員表彰 2 名
 - ・2025 年度 永年勤続者表彰式（当法人）

永年勤続表彰	40 年	1 名
永年勤続表彰	30 年	1 名
永年勤続表彰	20 年	3 名
永年勤続表彰	10 年	11 名

10. その他報告

2025 年	4 月	1 日	新入職員入社式並びに辞令交付式
	4 月	5 日	高次脳機能障害 患者・家族サロン
	5 月	14 日	看護の日イベント
	6 月	26 日	職場体験（中島小学校）
	7 月	4 日	喫煙予防教室（矢吹中学校）
	7 月	9 日	東北厚生局適時調査
	7 月	12 日	在宅介護家族会
	7 月	23 日	高校生 1 日看護体験
	8 月	2 日	高校生医療の仕事体験フェア
	8 月	21 日	県南医療圏地域医療連携協定 締結式
	9 月	9 日	職場体験（矢吹中学校）
	9 月	18 日	第 28 回 救急の日記念事業
	9 月	22 日	自衛消防訓練
	9 月	30 日	職場体験（光南高等学校）

	10 月 17 日	県南保健所立入調査
	10 月 22 日	献血活動
	11 月 5 日	介護の日イベント
	11 月 8 日	ボランティア清掃（町内）
	11 月 15 日	在宅介護家族会
	11 月 17 日	秋季総合自衛消防訓練
	11 月 21 日	医療安全相互評価ラウンド
	12 月 4 日	出前講座（職場づくり）
	12 月 10 日	永年勤続者表彰式・忘年会
2026 年	1 月 7 日	職員新年会
	1 月 15 日	昭和 21 年 会田病院設立日
	1 月 20 日	昭和 28 年 財団法人会田病院 設立日
	2 月 12 日	地域連携会議
	3 月 4 日	献血活動
	3 月 30 日	防災訓練